（第三種郵便物認可）　明治四十年十二月廿三日　上毛新聞　第六千百十二號　（三）

東京電話 廿二日

聖上陛下御風氣

縣下第一當選美人へ

乳白化粧水レート　壹打

東京馬喰町　中尾貨店

（代金參圓六十錢）

寫眞料金の五割引

縣下第一新式の寫眞師と知られたる市輪町**猪谷寫眞店**に於て本日より寫眞撮影を開始し其生徒は本紙に於て募集中なる美人寫眞應募者の中より特に定價の五割引を以て撮影の便利を謀りかねて應募者は左の如き承諾の上御撮影あらんとを希望す

▲撮影を希望する婦人に限る事

▲一撮影に付き一組の中一枚は必ず撮影したる寫眞より直に上毛新聞紙上に掲載したる寫眞店より直に上毛新聞紙上に掲載したる寫眞店へ即金拂ふる事

▲一代價は寫眞店へ即金拂ふる事

美人寫眞當選者副賞

今曉の地震（範圍甚廣し）

東京にて午前二時十七分三十九分の地震あり地震はやや長く感じたるも被害なしと云ふ

横濱現物絲況（下巻）

前報後掲の如き四百五十四個の生糸は昨日結束まで二百五十二個の生糸は本日の米穀界に回り慶應義塾に依りては時辰儀を生じたるも北の少からず此地は其の區域甚だ廣くして北は石の巻に貞動面積は九千方里に及べりと云へり近來の大地震なり

藤岡出身の偉人

▲贈從四位關新助先生▼

▲ニュートンと同時代▼

今回贈位の御沙汰を得たる關新助先生は本朝數學の大家なり其生國は我が上野にして多野郡藤岡町が其の誕生地なり寛永十九年（一説には十四年）即ち

▲二百六十年前に生れ寛永五年十月二十四日病歿したり、江戸に出で、八代將軍德川綱吉に仕へ櫻田殿勤定吟味役となり其後未だ納戸組頭となり三百石の祿を受けたり、幼少の頃より計算を善くし元朝の數學者に未だ學ばざる天元術を加へ天元段法を工夫して歸源整法を拡張して之を撰し更に之を撰して歸源整法を得たり之れ所謂點竄術の整法をなすべく算法を得たり之れ所謂點竄術の整法なり、又之をして初等代數學に似たるものなり、又之より進んで諸種の術理を發明し遂に圓理術を得たり此術は面積體積を求むるの術たり其學理はニュートン、ライプニッツの微分積分に及ばざる所ありとするも實際の應用に於ては同一の目的を遂くるの術なるを以て飜れば當時の我國に於て斯く深遠の學理方法を得たるは實に偉大なりと云ふべしと雖も稍早すぎたるの感ありしが故に同時代にして反て稍時を早うせるに於ては其一層の尊敬を拂はざるべからず關先生の著は書は本邦に於て最も古き書にして寶永の傑作なり

▲秘中の秘

として高弟のみに傳へたるものにして所謂七部書なるものあり、關流の數學は關先生の時既に大年出來たるべけれども其宗統及之に屬する後秀の學者輩出して漸次高尚なる術理を發明せり其宗統とは荒木村英、松永良弼、山路主住、安島直圓、内田恭、内田榮、現今生存する第三代目下誠、内田榮の門人にして現今生存する第三代目同村英學者小幕關慶（之は現行後程遠からぬ亡くなりたる人なり）の紙上に詳報を掲げたるが如き人物なり

▲亡妻の墓に水盃▼

妻郡長野原町地方は去る十九日朝の如き霜最も甚だしく硯の水が氷りて筆の自由を得ざりしが午後より一天搖蕩の日和となりたるに夜に入りて又霜降りぬはげしく降り雪となり翌朝に至りて草津嬬恋六合の諸村落一面に積雪を来たせり

▲硯の水が氷る▼

▲死が生存▼

▲戦争茶屋の等銃狙撃事件後聞

▲美人狙撃事件後聞

▲美人狙撃事件後聞

▲美人